

特殊詐欺(オレオレ詐欺、還付金詐欺、架空請求詐欺など)の被害防止には、留守番電話の利用が有効です。

 被害にあわないために最も有効な手段は「相手と話をしない」ことです！

「特殊詐欺」について知識があり、「だまされない」と思っている方でも、突然の電話で身内のトラブルなどを告げられると、冷静な判断ができなくなります。相手の話術は巧みです。相手のペースに乗せられてしまうと、落ち着いて考えられなくなります。大切なのは「相手と話をしない」ことです。

 在宅中でも、常に「留守番電話」にしておきましょう。

- ・詐欺集団は、録音されることを嫌がりますので、すぐに電話を切ってしまいます。
 - ・本当に用事がある方なら、メッセージを残してくれます。かけなおしましょう。
 - ・息子や孫など身内を名乗ってメッセージが入った時でも、すぐに電話には出ず、かけなおすようにしましょう。
- 「電話番号が変わった」と言われても、まず元の電話番号にかけること、また他の家族などに確認しましょう。
- ・家族にも留守番電話のことを話しておきましょう。



 「留守番電話にしているとかえって不用心では？」

「留守番電話は失礼ではないか」と思われる方へ。

ほとんどの留守電機能付き電話機では、応答メッセージの変更ができます。メッセージを変更して、防犯対策中であることを伝えましょう。変更方法は説明書などで確認してください。

【応答メッセージの例】

振り込め詐欺などの防犯対策のため、留守番電話設定にしております。
お手数ですが、発信音のあとに、お名前とご用件をお話してください。